

の学内競争的研究費（学術奨励研究費・共同研究費）の公募と審査に係わる制度設計を行った。また、毎年1回の研究交流会の企画において、積極的な参加を促し学部間や分野を超えて教員間の交流が図られるよう、会場作りや進行方法等に工夫を凝らした。

知的財産管理体制の強化を図るため、工業所有権情報・研修館から派遣される大学知的財産アドバイザーを講師として「知的財産セミナー」を全学FDとして開催した。また、平成23年度から始まる「広域大学知的財産アドバイザー派遣事業」に応募し、知的財産管理運営体制構築等を推進するための準備を行った。

＜地域・産学連携＞

地域からの協力要請に対して、本学教員・学生が本来の活動の延長上で地域に還元できるよう受託の条件等を整え、地域連携活動の支援を行った。また、教員の研究成果を積極的に学外に周知し産学連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」への出展や産業界へのアンケートを通じて学外のニーズを収集し、外部との研究推進のためのネットワークづくりに着手した。

＜人材育成・継続教育＞

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元することにより、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献を果たすことを目的として、平成22年度中に、専門職業人や市民を対称に10コース・24コマの講座を開催した結果、延べ833名が受講した。

＜国際交流＞

マレーシアへの短期スタディツアーを企画し学生と教員を派遣した他、ノボシビルスク国立建築芸術大学への短期の学生と引率教員の派遣、華梵大学との製品デザインワークショップへの学生と引率教員の派遣等、学内で提案のあった国際交流活動を支援した。

また、学外からの要請を受け、ノボシビルスク青年団・市民交流団との交流や、JICAアフリカ系研修員の受入れ協力を行った。この他、海外提携大学との教員交流に係わる受入れ基準を策定した。

＜紀要編集＞

「SCU Journal of Design & Nursing」の研究論文集としての質向上を図るため、従来の「査読なし論文等」を掲載していた第二部を廃止し、全ての投稿論文について査読を経て掲載の可否を決定した。また、新たに作品系論文の区分を設けた他、査読要領と基準を策定した。

従来の第二部に掲載していた地域貢献活動の報告等を公開するために、本学ホームページ上にPDFデータ版の「研究・活動報告集」を準備する仕組みづくりを行った。

7 アドミッションセンター

入学者選抜試験及びそれに伴う試験区分ごとの従事者説明会の実施、入試広報、入学者選抜方法の調査研究及び統計等に関する事業の計画的な推進を行った。

平成22年度は計10回の会議を開催し、前年度の結果の分析、入学者選抜方法の検討、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領の策定、入学者選抜試験に係る現状分析、特別選抜試験（推薦入学）の入学手続者に対する入学前教育の実施及びデザイン学部の平成25年度入学生からの編入学定員及び一般選抜前期日程の定員変更の決定等を行った。

学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、高校訪問及び進学相談会等についての企画・運営を行った。